

令和元年第10回教育委員会議事録

開催日時 令和元年10月23日(水)
午前10時00分～午前11時30分

場所 教育委員会会議室

出席者 教 育 長 石 黒 貢
教育長職務代理者 加 藤 正 道
委 員 木 下 史 江
委 員 中 川 まどか
委 員 高 橋 洋 一

事務局出席者 教育総務部長 荒 浪 淳
学校教育部長 井 上 正 人
学校教育部副部長兼学務課長
田 口 周 一
教育総務課長 関 根 宏 夫
文化財保護課長 岸 本 光 子
指導課長兼小中一貫教育推進室長
五 味 理 絵 子
教育総務課庶務係主事 武 内 由 紀
教育総務課庶務係主事 高 橋 仁 志

○ 開会の言葉及びあいさつ 石黒教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和元年第9回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第42号 [説明者 田口学校教育部副部長兼学務課長]

八潮市立小、中学校管理規則の一部を改正する規則について

八潮市立小、中学校管理規則の一部を改正する規則（昭和32年教委告示第9号）の一部を別紙のとおり改正したいので、議決を求める

令和元年10月23日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 令和2年度から全面実施となる新学習指導要領に示された授業時数の増加に対応するため、夏季休業日を短縮し、第1学期の終わりの日及び第2学期の始まりの日を変更したいので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○石黒教育長

パブリックコメントの意見はどのような方法で提出されましたか。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

学務課宛にメールで提出されたものと、窓口へ直接持参された方がいらっしゃいました。いずれも文章で提出していただきました。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第43号

[説明者 関根教育総務課長]

令和元年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価（平成30年度対象）について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により令和元年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価（平成30年度対象）を行い、その結果に関する報告書を作成したため、議決を求める。

令和元年10月23日提出

八潮市教育委員会教育長 石 黒 貢

提 案 理 由 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表したいため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○石黒教育長

資料6ページ（事務事業名：入学準備金・教育資金貸付事業）に「制度の理解不足の問題もあるのではないか」との意見がありますが、こういった方法で周知していますか。

●関根教育総務課長

この事業については、平成29年度より貸付対象者を小中学生の保護者まで拡大したため、これまで小中学校の入学説明会で説明を行ってまいりました。

また、入学準備金の申請については、推薦入試の合格時期及び一般入試の合格時期に合わせて840情報メール、広報誌及びホームページを活用し周知しております。さらに毎年6月に中学校3年生の全生徒に対し、三者面談用として学校を通じて保護者に案内を配布しております。今後もあらゆる機会を捉えて周知をしていきたいと考えております。

○石黒教育長

市としては学校へ出向いて周知をしておりますが、保護者の理解が十分にされていない状況です。教育委員の皆様から見て、周知が足りないように感じることはありますか。

○高橋委員

情報の取り方が違うのではないのでしょうか。

学校に関わることに關しては、保護者同士の繋がりや周知されていくことが多いように感じます。

○木下委員

貸付等のお金に係る部分だと、保護者同士で話すことも少ないため、他の事業に比べると周知されるのが難しいように感じます。

市の福祉関係の部署の方々には、こういった事業があることを把握されていいますか。

●関根教育総務課長

この事業については、第2期八潮市地域福祉計画にも掲載をしておりますので把握はしています。

○木下委員

福祉関係の窓口で担当した職員が情報を把握して教育委員会へ案内をできれば、必要とする方への周知はしていけると思います。

○中川委員

必要とする方は、意識して知る努力をしたいと思います。

○高橋委員

市では、できる限りの周知はされていると思うので、受け取る側がどれだけ注意をして見るかだと思います。

○加藤教育長職務代理

困っている方に対する対応は一生懸命やっています。

報告書に入学準備費金、教育資金ともに辞退者が1名おりますが、これはな

でしょうか。

●関根教育総務課長

こちらの方につきましては、審査会では「適（貸付可）」となりましたが、希望校に合格されなかったため辞退届が提出されたものです。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第44号

[説明者 五味指導課長兼小中一貫教育推進室長]

八潮市就学支援委員会委員の委嘱について

八潮市就学支援委員会委員に別紙の者を委嘱したいので、八潮市就学支援委員会規則（昭和62年教委規則第7号）第2条の規定により、議決を求める。

令和元年10月24日提出

八潮市教育委員会教育長 石黒 貢

提案理由 前任者の辞職に伴い新たに委員を委嘱したいので、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

○石黒教育長

経験のある方ですか。

●五味指導課長兼小中一貫教育推進室長

現在、八條中学校のスクールカウンセラーとして火曜日に勤務しており、それ以外の2日間は教育相談所の専任教育相談員として勤務しております。

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和元年9月分「市民の声ボックス」の受付及び処理状況について

【資料説明】

市全体の「市民の声ボックス」の9月分の投書は34件、このうち教育委員会への投書は5件でございました。

内容といたしましては、まず（6番）学務課宛に「伊勢野地区の中学校はいつできるのか。小学校も近いし、中学校もできる予定と聞いて5年前に家を購入した。色々な人に聞いたところ、10年以上前から放置されている案件であるとのこと。」というものでした。

この投書に対しまして、「現在、策定中の八潮市学校適正配置指針・計画において、通学区域の変更や中学校の建設予定地の活用なども含め検討を進めています。」と回答しました。

次に、（7番）教育総務課宛に「昨年辺りから潮止中学校は自転車置場が足りなくなり一年生は徒歩通学を余儀なくされていると聞いている。防犯上の観点からもいかがなものかと思う。中学校建設はすぐに無理でも自転車置場くらいなんとかしてあげてほしい。」というものでした。

この投書に対しまして、「潮止中学校の自転車置場については、以前は仮設で対応していましたが、平成30年度の校舎増築工事の際に自転車置場を増設し、必要な台数は確保しています。潮止中学校に確認したところ、一年生だけ徒歩通学をさせているということはありませんでした。なお、通学距離が1.5kmを超える場合には、校内手続きと自転車保険加入をしていれば、許可されているとのことでした。」と回答しました。

次に、（10番）指導課宛に「今年の潮止祭と大曾根っ子まつりが同日に行われるそうである。大曾根小で役員になった方が、潮止祭に参加できないと残念そうだった。行事を決める際に、学校同士で日程の共有はしないのか。」というものでした。

この投書に対しまして、「各学校では、それぞれの行事計画を共有し、PTAとも協議の上、日程を決定しています。今回、潮止中と大曾根小に問い合わせたところ、なるべく行事が重ならないようにしているとのことでしたが、潮止中に入学する複数の小学校の日程と重ならないように配慮することが難しいこともあり、また、今年度は他の行事も重なりやむを得ず同じ日になった、とのことでした。」と回答しました。

次に、（11番）指導課宛に「夏休みの作品展が開催されていたので市内のある小学校に入る機会があった。その際に教職員による子どもへのことばの暴力

を確認した。高圧的態度で本人の意思を無視した上からものを言う態度は旧態依然の教育方法であり黙認できるものではない。宿題のあり方も同様だが、教師の質が問われる由々しき問題だと考える。」というものでした。

この投書については、回答を求められておりませんので、業務の参考とさせていただきます。

次に、(21番)教育総務課宛に「八幡中のフェンスから飛び出している雑草が1m以上のものもあり、また、テニスコートの周りもひどい状態であったので、学校に電話で伝えた。1週間以上たってから見たらフェンスから出ている部分だけカットされていたが、テニスコートはそのままであった。また、北側の排水溝も砂で埋まっていた。このように放置しているのは教育としてあり得ないと思う。」というものでした。

この投書については、回答を求められておりませんので、業務の参考とさせていただきます。

(2) 台風19号における避難所について

【資料説明】

10月12日から13日にかけて対応した台風19号における避難所についてでございます。

最初の対応としましては、自主避難所(台風の接近に伴い、避難勧告等の発令前に、自主的に避難を希望される方に対して、一時的に提供する避難場所という位置づけ)を市内5か所(八幡公民館、八條公民館、資料館、ゆまにて、古新田公民館)に設置し、受け入れを開始しました。

その後、本来の指定避難所である小中学校に、近隣の住民から直接、避難したい旨の連絡が入り始め、柳之宮小を皮切りに、11校で避難者を受け入れました。

ピーク時には、自主避難所と指定避難所をあわせて500人以上の方を受け入れました。

台風の通過に伴い、順次帰宅される方が増え、最後に閉鎖となったのは八條中で、13日の朝、8時40分でした。

●井上学校教育部長

(1) 台風19号における学校の対応について

台風が直撃する前の10日木曜日に、学校の対応について協議しました。

内容としては、事前の備え及び台風が去った後の被害が大きかった場合を想定し、各学校の教員の出勤の可否について確認し、結果を報告するよう指示をしました。

12日の14:00の時点で直撃することが間違いないとの情報だったため、校長先生方に連絡をし、緊急招集で校長先生若しくは教頭先生が出勤するよう依頼をしました。

今回の校長会で、今後大きな災害が起きた際にどういう対応をするか、また、教員の中には保護者もいて自身の子どもを引き取りに行かなければいけない方も出てくるため、課業日だった場合にどれだけの教員が対応可能なのかを掌握し、災害に対する対応方法を校長会で協議していただく予定です。

●井上教育総務部副部長兼社会教育課長（荒浪教育総務部長が代わって説明）

(1) 青少年の主張大会の開催について

【資料説明】

日時は11月9日土曜日の午後1時30分から、会場は八潮メセナホール、内容は青少年の主張発表、及びアトラクションとなります。

ぜひご来場をいただき、青少年の主張をお聞きいただければと思います。

(2) 令和元年度PTA連合会広報誌コンクールの結果について

【資料説明】

9月5日の市の審査会、及び9月12日の埼玉PTA連合会の審査会を経まして、10月4日の埼玉県PTA連合会の審査会の結果、大瀬小学校の広報紙が「銀賞」大原中学校、潮止中学校の広報紙が「銅賞」を受賞しましたので、ご報告させていただきます。

●田口学校教育部副部長兼学務課長

(1) 学校給食費の収納状況について

【資料説明】

10月21日現在、7月分までの収納率となっております。

小学校が99.71%、中学校が99.04%、小中合計が99.61%になっておりまして、昨年度の同時期と比較すると0.39%プラスになっております。未納額も382,997円少なくなっております。

今後も学校と情報共有をしながら、個々に対応した収納を進めていきたいと考えております。

(2) 学校教育審議会の進捗状況について

第1回目につきましては、前回の教育委員会にて報告させていただきました。第2回目は8月20日(火)に開催いたしました。審議内容としては、学校施設の状況、開発動向、現状の課題とまとめを業者の分析した結果を報告し、ご意見をいただきました。その後、学校の適正規模についての考え方(指針・基準)(案)についてご承認をいただきました。小中学校の適正規模の学級数のほか小規模または大規模校の基準を設け、検討や対応となる基準を設けました。

最後に、将来推計及び多面的な観点からの実態・課題として、北部地区、11小を含む検討を開始いたしました。意見として、「八條北小学校について、保護者の意見では現状で満足であるというアンケート結果を重視すべきだと思う」や「小規模特認校制度のニーズが高いことから、現時点では統廃合や新設校の話をする段階ではないと思う」、「八條北小学校の保護者の立場として単学級でも何の問題もない。これから入ってくる人がどう思っているかが重要だと思う。すぐに統廃合する必要はないと感じる。ただ、中学校は部活が限られてしまうという点はかわいそうだと思う」、「しばらくは複式学級となる見込みはないとのことでもあるので、小規模校のきめ細やかな指導を特色として、八條

北小は残していただきたい」、「学校は地域の核のはたらきがある。通学時間や通学範囲、地域のまとまりなどを考えると八條小、八條北小については、小中一貫のまとまりもあるので、このまま継続して地域と学校のつながりが続くといいと思う」等の意見をいただきました。

第3回目は9月26日（木）に開催いたしました。審議内容として、北部地区の今後の方向性について11小を含む検討を行い、承認をいただきました。

さらに第3回目の審議会では、将来推計及び多面的な観点からの実態・課題を中央部地区と南部地区に分けて協議を行っているところです。

現在の意見ですが、「大瀬小学校や潮止中学校の児童生徒数増加の問題について、2021年には教室不足となる見込みであるので何らかの対応が必要だと思う。通学時間のアンケート調査結果において15分から30分が望ましいという意見が多いし、通学距離が長くなれば児童生徒への負担は増えるので、適正な距離の学校が必要だと思う。南部地区の予定地に新設小学校、新設中学校を建設するべきだと思う。」や「南川崎地内の中学校予定地の計画はどうなっているのか。八潮中ブロックで南川崎の子供たちだけ小中一貫のブロックを外れた中学校に行くことに違和感がある。本来なら南部東地区の区画整理事業は終わっている予定だが、進んでいない。区画整理と併せて中学校を建設するというのだといつになるかわからない。せっかく予定地があり、潮止中学校ではプレハブを作っているような状況でもあるので、早く新設中学校を建設してほしい。」という意見がありました。

審議会は残り2回となります。第4回で中央部地区と南部地区の方向性についてご意見をいただいた後にご承認をいただき、第5回で答申のとりまとめを行う予定となっております。

●岸本文化財保護課長兼資料館長

(1) 資料館体験講座「カマドでご飯たき」について

【資料説明】

10月26日（土）に資料館にて開催される体験講座です。これから新米のおいしい季節を迎えますが、昔ながらのカマドでご飯を炊き、江戸時代の料理本からそれを再現した料理を作り、囲炉裏を囲んで昔の食事について考えようという講座です。

●五味指導課長兼小中一貫教育推進室長

（1）市内陸上大会について

【資料説明】

10月2日に松之木小学校と大曾根小学校で実施されました。

北部会場と南部会場の結果をそれぞれ掲載しております。北部会場の優勝は松之木小学校、南部会場の優勝は大原小学校となっております。

児童の種目に出場するときの姿勢はもちろんですが、応援や待機する姿勢が非常にすばらしかったです。

（2）子どもの活躍について

【資料説明】

新人戦以外の活躍になっております。八幡中学校の倉田さんが棒高跳びで全国大会に出場しました。また、大原中学校の大澤さんが地域の野球チームで全国3位となっております。さらに八條中学校の吹奏楽部が全国大会に出場しています。

次のページ以降に新人戦の県大会に出場した選手及びメンバーとなっておりますので、ご覧ください。

（3）令和元年9・10月 事件・事故報告について

【資料説明】

全て不審者の報告となっております、警察へは連絡済です。

(4) その他

【資料説明】

小中一貫教育全国サミットについてです。11月7日(木)、8日(金)に大阪府堺市にて実施します。市教育委員会と大曾根小学校で「学びを通して子どもを育てる生徒指導」を発表する予定です。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

今回の台風の際に、校長先生や教頭先生以外にも出勤していますか。

●井上学校教育部長

全校の状況は把握できておりませんが、教務主任の先生が自主的に出勤された学校もありました。また、早朝に学校の様子を心配し出勤した教員もいました。

○木下委員

学校の校舎を開けるのは凄く大変なことだと感じます。

●井上学校教育部長

基本的に避難所は体育館となっているので、市職員や町会自治会の方は体育館の鍵は持っています。ただ、防災グッズが校舎の中にあつたり、垂直避難の必要があつたり、怪我をした場合には保健室で治療する可能性もあるため校舎を開けないわけにはいかないので、学校の先生は居ていただかないといけない状況です。

○中川委員

今後災害が発生した際の学校の体制は、これから検討していくということですか。

●井上学校教育部長

はい。今までも検討しておりますが、より現実的な対応を各学校で検討して

いかないといけないと思います。

○加藤教育長職務代理

避難所で市職員や教員の方々だけで足りない際には、地元の消防団を要請していただいて構いませんので、そういった際の連絡手段等も検討していただければと思います。

●井上学校教育部長

ありがとうございます。避難所は開設してから落ち着くまでの間が一番大変なので、避難者が多く集まる時間帯に応援をいただけると助かります。

○石黒教育長

今回の台風で学校施設等の被害はありましたか。

●荒浪教育総務部長

まず、9月の定例教育委員会でもご報告いたしました。台風15号により八條小学校校庭に植樹しているポプラが倒木し、機材を破損してしまった件につきましては、示談となり本日賠償金の支払いをさせていただきました。

続きまして台風19号による被害ですが、中川小学校では物置が飛ばされ、学校の窓が割れました。松之木小学校では3箇所被害があり、1箇所目は飼育小屋の屋根が半分飛ばされました。2箇所目はプールの周りのカバーが剥がれました。3箇所目が葛西用水路側の桜の木が倒木しましたが、これについては教育委員会の職員と教頭先生で対応いたしました。大原小学校ではブロック塀が傾きました。

被害があった施設等については、担当職員が現場を確認し、対応を進めております。

○中川委員

10月7日(月)、8日(火)に富山県で開催された教育委員会研究協議会へ出席しました。

2日目の分科会では「学校における働き方改革の取組みについて」に参加しました。その中で印象に残ったやり取りがあったので報告します。

教育委員や教育長からの意見として、教師の授業の負担数が多いため、人数を増やすか、時間数を削減すべきではなかという意見が出ました。これに対する文科省の方の返答に場の空気が一瞬止まりました。最後に文科省の方に対し、現場をもっと見ていただきたいという意見に対し、文科省の方は自身の両親が教員で幼少期に両親から時間を持ってもらえなかったため教員の事情はわかりますと話しており、最初と違った返答をしていました。さらに、両親が子どもの数は減っているが、昔以上に負担が増えているのがよくわかると言っているということも話しており、柔らかい空気になりました。

こういった協議会等に参加させていただくことで色々なことを知れて、教員や行政の方の取組みが実感できるのでこのような機会を設けていただき感謝しています。

○木下委員

私は「地域と連携したキャリア教育について」に参加しました。

印象的だったのは、秋田県大館市の教育長がお話しをされていたことで、対話の中で必要なこととして共感をする（聴く）力を育てていると話していました。子どもたちが対話している中で一生懸命話していても相手が無反応だと子どもたちも乗ってこないのが、聴く側の聴く力を育てることに力を入れて、共感する。「響学」を前面に押し出しているということが素晴らしいと感じました。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。

次回開催日程

令和元年第11回定例会 令和元年11月27日（水）午前9時30分

会議録作成責任者.....

会議録作成者.....

会議録作成者.....

上記会議録に相違ないことを出席者全員ここに署名する。

八潮市教育委員会

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員